

意見書案第 2 号

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書の提出について

上記の議案を別紙のとおり花巻市議会会議規則第 13 条第 2 項の規定により提出する。

令和 7 年 10 月 1 日

花巻市議会議長 藤 原 伸 様

提出者 花巻市議会文教福祉常任委員会
委員長 佐 藤 現

「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書

現在、国の中央教育審議会「教育課程企画特別部会」において、10年に一度見直しが行われる次期学習指導要領改訂に向けて議論が行われており、2025年度秋までに次期学習指導要領についての大枠の方向性を示し、2026年度中に答申・改訂を行うとしています。

文部科学省の調査（2024年12月）において、小・中・高を合わせると41万人を超える不登校の子供の数が報告され、特別支援学級や特別支援学校に在籍する子供たちの数も、過去最多を記録しています。この一因として、この間の学習指導要領が改訂の度に内容が難しくなるとともに、教科書のページ数も増えており、子供たちの負担になっていることも考えられます。また、学校現場では慢性的な教職員不足も続いており、子供たちの豊かな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。

学習指導要領の改訂は、子供たちの豊かな学びの保障や、教職員の「働き方改革」に大きく関わります。「カリキュラム・オーバーロード」（国の教育課程基準に基づき、学校が定めた教育課程の時数と内容が過多になっていて、子供や教職員に過大な負担がかかっている状態）等を改善することが喫緊の課題です。このため、次期学習指導要領の内容の精選や、標準授業時数の削減が強く求められます。

つきましては、次の事項が実現されるよう、意見書を提出いたします。

記

- 1 子供たちの豊かな学びを保障するため、「カリキュラム・オーバーロード」の早期改善のため、学習指導要領の内容の精選等を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和7年10月1日

提出先

内閣総理大臣

衆議院議長

参議院議長

文部科学大臣

財務大臣

総務大臣

花巻市議会議員 藤 原 伸